

企業連携のヒント探る

異業種がそれぞれの特色を生かし、世界に通用する「福島ブランド」の確立を目指す「福の鳥プロジェクト研究会」は19日、福島市の第一印刷で第2回会合を開き、参加者が企業連携のヒントを探った。

初回に続き、サンリオで商品企画やテーマパーク開園・運営などに携わり、現在は施設・環境開発などを手掛けるネットワークスの横山哲社長が講義を行った。また、参加者がそれぞれの企業の商品を持ち寄るなどして、連携が可能かどうか模索した。